

令和3年6月1日に思う

国は、ここに来てワクチン接種を急加速させています。菅首相は5月7日の記者会見で「一日100万回の接種を目標とする」と発言し、そのために自衛隊を導入すること、東京や大阪での大規模接種会場を設けるとしました。

専門家のアドバイスをうけ、また国外でのワクチン接種効果の声が多く届くなか、首相周辺がにわかに、慌ただしくなり「ワクチンは感染対策等の決め手」としているようです。まさに緊急事態宣言であります。

本村は、住民皆様のご理解とご協力もあり、またスタッフの準備や手際良さもあり、65歳以上の高齢者（接種希望者）の方々の接種を6月17日に終わることが出来ると考えています。さらに一般の方々の接種についても7月中旬ごろには終わりたいと思っています。引きつづき、油断することなく緊張感をもって、接種業務を円滑かつ迅速にすすめたいと思います。

そうした中、奈良県は5月10日、県の緊急対処措置を延長することを発表しました。分析として「大阪府の感染状況の影響を大きく受けている」としています。そして、その感染者の波形が大阪の10分の1で一致していることも、付け加えられています。さらに感染者の特徴として重症化するイメージがあるが、実際の感染者はほとんどが無症状であり、軽症者と合わせると約90%（3月1日～5月5日までの調べ）に達します。これは無症状の人が気付かない間に感染させている可能性があることを忠告しています。

いずれにせよ、まだまだ「感染者が高止まり」にあることは間違いありません。ゴールが見えないコロナとのたたかいではありますが、「日常の生活を取りもどす」まで、感染対策を励行しましょう。